



第18回「本間一夫文化賞」の決定について
—桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館様—

社会福祉法人日本点字図書館は、本間一夫文化賞の選考委員会（委員長：社会福祉法人恩賜財団済生会 炭谷茂 理事長）で、第18回受賞者に、「桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館」様を決定しました。

受賞される「桜井記念 視覚障がい者のための手でみる博物館」様は、岩手県盛岡市にあり、今年で創立から40年になります。1981年、当時県立盲学校の教諭で全盲だった故・桜井政太郎（さくらい まさたろう）氏が自宅を改築して創設しました。2010年に氏の体調不良により一旦閉館するも、活動に感銘を受けた現館長の川又若菜（かわまた わかな）氏が引き継ぎ、2011年7月に現在地に移転の上、再び開館しました。

博物館は現在も、『百聞は一触（いっしょく）にしかず』という初代館長の桜井氏の残した思いを引き継ぎ、視覚障害者の、触れて考察する「触察」文化の普及と発展に多大な貢献をされています。

本間一夫文化賞は、2003年8月に他界しました日本点字図書館創業者、本間一夫を記念して2004年より設けられた賞であり、毎年、視覚障害者の文化・福祉・教育の向上に貢献した個人・団体に贈られます。社会福祉法人読売光と愛の事業団様には第1回から受賞者決定に関する記事の全国紙への掲載と、記念品のご協賛をお願いし、長きに渡り多大なお力添えをいただいております。10月7日の読売新聞紙上の記事掲載をもって発表とさせていただきます。



（写真左）博物館内の様子
（写真右）現館長の川又氏

(選考委員)

炭谷 茂	公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会会長 (選考委員長)
	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長
岡本 厚	前株式会社岩波書店代表取締役社長
北沢 巖	社会福祉法人読売光と愛の事業団福祉助成部長
三田誠広	作家・公益社団法人日本文藝家協会副理事長
立花明彦	静岡県立大学短期大学部教授
本間一明	本間一夫長男

(協賛)

社会福祉法人 読売光と愛の事業団
公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団

(後援)

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
社会福祉法人 日本盲人福祉委員会
社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
株式会社 毎日新聞社 点字毎日部

【 社会福祉法人日本点字図書館について 】

1940年本間一夫により創設。点字図書・音声図書の製作・貸し出し、視覚障害者用具の販売等の事業、自立訓練（機能訓練）事業および指定特定相談支援事業を行なう日本最大の視覚障害者情報提供施設。視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の管理も行なっている。

ホームページ : <https://www.nittento.or.jp/>